

## 次世代を担う選手の育成・強化の基本方針

### 目標

世界の強豪国が取り組んでいる「ISAF ユースワールド」に勝利し、その選手達が将来のオリンピック選手に繋がりメダルを獲得する仕組みを作りあげる事を目標とします。

そのため、同大会実施種目である420級、レーザーラジアル級ユースの各ワールドに、また競技人口の多いOP級選手の次の目標になるレーザー4.7級ワールドにも選手を派遣して育成・強化を行うこととします。

### 2009年度および2010年度以降の強化内容

#### I. 2009年度次世代を担う選手の育成・強化

2009年度の次世代を担う選手の育成・強化事業は【別紙1】の内容で行います。

今年度は来年開催される第1回 IOC ユースオリンピックのアジア地区参加枠獲得大会代表選考を行う必要から8月～9月に U-15 を主対象の強化合宿、選考レースを、12月、3月には U-19 を主対象の合強化宿、選考レースを行います。(実施時期、詳細は別途公示を参照)

#### II. 2010年以降の次世代を担う選手の育成・強化

##### 1. 全体育成・強化合宿および各世界大会代表選考

年2回、12月と3月に全体集合合宿を和歌山で行い、かつ3月は合宿と合わせて翌年のISAFユースワールド、420ワールド日本代表選手選考、またラジアルユースワールド補助対象選手選考を行います。

なお全体合宿には各水域の指導者に参加を呼びかけ指導者の育成も併せて行います。レーザー4.7ワールド代表選考は開催年度の4月～5月にかけて別途開催します。

##### 2. ユースナショナルチーム候補の認定

【別紙2】記載の各種大会からユースナショナルチームを認定し、12月、3月全体合宿への参加資格および3月各代表選考会の参加資格を与えます。

別紙2記載の(A)(B)大会において認定するユースナショナルチーム候補の年齢条件は以下の通りとします

- ① スkipper、クルー共に当該大会の翌年12月末現在19歳未満である事
- ② Skipperが当該大会の翌年12月末現在19歳未満、クルーが年齢超過のチームは12月全体合宿または3月合宿、各種大会日本代表選考レースまでにクルー変更を申請し、上記①の条件を満たした場合

選考大会(A)における権利の繰り下げは以下の通りとします

既に権利を獲得している選手(チーム)を除き、当該大会の上位10位まで繰り下げる事とします。

### 3. 各拠点における育成・強化合宿

12月、3月の全体合宿以外に次世代選手の育成・強化に対する補助金(助成金)額が現在のまま推移する前提でオリンピック特別委員会、競技力向上委員会が連携し、各水域における指導者環境の整備と新しい選手の発掘を目的として各拠点(関東、和歌山、九州)で個別の合宿を行います。

(実施時期、回数等の詳細は別途決定)

### 4. 2010年に限定した強化事項

#### (1) 第1回 IOC ユースオリンピック代表選考

【別紙3】ユースオリンピック開催要項記載の通り、アジア地区参加枠を獲得、かつJOCからの参加承認を得た場合日本代表選手選考会を開催します。

(開催時期、場所については11月アジア地区予選の終了後、出来るだけ早く公示します)

#### (2) アジア大会に向けたユース種目強化

アジア大会参加種目優先順位は9月末を目途に決定、その後にユース種目の強化および代表選考会日時・場所を決定します。

### Ⅲ. JOC へのユースエリート推薦

2009年度ジュニア・ユース(U-15、U-19、U-22)の各種目世界選手権大会の成績から2010年度ユースエリートをJOCに推薦します(2009年度推薦実績4名)

ユースエリートとして認定された選手には日本スポーツ振興センターから強化費用に充当する個人助成が行われます。

以上

## 2009年次世代を担う選手の育成・強化事業（強化合宿および各代表選考会）について

2009年度、次世代を担う選手の育成・強化事業を以下の通り行う。

強化合宿は補助対象とする参加者の上限数を設けて実施するが併催する各選考レースの参加資格は以下の通りとする。

(1) ユースオリンピックアジア地区参加枠獲得大会代表選考会(9月開催)は年齢条件の参加資格を満たした選手のフリーエントリーとする。

(2) U-19 各大会選考レース(2010年3月実施)は原則年齢条件の参加資格を満たした選手のフリーエントリーとするが、提出された自己推薦申込書の内容(大会参加実績、成績等)

を【別紙2】に定める2010年以降「合宿・大会への推薦基準」に準じ審査、大会参加を認めない場合がある。

事業	事業名	期日	日数	開催場所	実施種目	事業の目的	合宿補助 上限人数	合宿参加資格等	合宿補助対象の目安	選考レース参加資格 ＜年齢条件＞	合宿・選考レース 参加申込	選考大会および内容 選考数
1	育成・強化合宿	8/20～23	4	和歌山	《U-15》・レーザー 4.7、テクノ 293 《U-19》ラジアル、 420、SR	ユースオリンピックに挑戦 する U-15 選手を中心に U-19 選手も含めて基本ハ ンドリングの習得を目的とす る	40 人	・5 月に認定されたユース NT 候補選 手(注1) ・艇種別協会(レーザー協会、 ウインドサーフィン連盟、OP 協会)推薦 ・都道府県セーリング連盟推薦	・U-15 選手70% 28名 ・U-19 選手30% 12名	・選考レースは無し ・20010年12月末現在19 歳未満の者(1992年1月 1日以降に 生まれた者)	参加希望者は全て自己推 薦申込書を提出、参加の諾 否を連盟で決定 (注2)	・選考は無し
2	・育成強化合宿 ・ユースオリンピックアジア 地区枠獲得大会 代表選考	9/20～23 〈合宿1日 レース3日〉	4	葉山	・レーザー 4.7 ・テクノ 293	ユースオリンピック代表参加 資格年齢選手の育成・強化 を目的とし、併せて11月タ イ・パタヤ開催のアジア地 区参加枠獲得大会への日 本代表選手選考を行う	30 人	・5 月に認定された U-15 ユース NT 候補選手(注1) ・艇種別協会(レーザー協会、ウインドサ ーフィン連盟、OP 協会)推薦 ・都道府県セーリング連盟推薦	・レーザー 4.7 15 名 ・テクノ 293 15 名	以下の3条件を満たす者 ・2009年12月末現在14 歳以上15歳以下の者 (1994年1月1日～1995 年12月31日の間に生 まれた者) ・日本セーリング連盟会員 ・日本国籍を有する	《合宿・選考レース》 参加希望者は全て自己推 薦申込書を提出、合宿お よび選考レース参加の諾 否を連盟で決定 (注2)	《派遣大会》 ・アジア地区枠取選手 権大会 《選考数》 レーザー 4.7、テクノ 293 最上位の男女各1名
3	U-19 育成・強化合 宿	12/26～30	5	和歌山	・レーザーラジアル ・420 ・RS:X ・29er	U-19 選手を対象とした育 成・強化を目的とした合宿	65 人	・5 月に認定された U-19 ユース NT 候補選手(注1) ・艇種別協会(レーザー協会、ウインドサ ーフィン連盟、OP 協会)推薦 ・都道府県セーリング連盟推薦	・420 級15艇30名 ・ラジアル級30艇30名 ・RS:X 級5艇5名	・選考レースは無し ・20010年12月末現在19 歳未満の者(1992年1月 1日以降に 生まれた者)	参加希望者は全て自己推 薦申込書を提出、参加の諾 否を連盟で決定 (注2)	・選考は無し
4	・U-19 育成・強化 合宿 ・ISAF ユースワー ールド 420ワールド 日本代表選手選考 ・ラジアルユースワー ールド 補助対象選手選考	3/19～24 〈合宿3日 レース3日〉	6	和歌山	・レーザーラジアル ・420 ・RS:X	U-19 選手を対象とした育 成・強化を目的とした合 宿、および 2010 年 ISAF ユースワールド、420ワー ールド代表選手選考を行う。 併せてラジアルユースワ ールド参加枠獲得者の中 から補助対象選手選考を 行う。	65 人	・5 月に認定された U-19 ユース NT 候補選手(注1) ・2010 年世界選手権大会(ラジアル 級ユース、420級)参加資格を 獲得した選手 ・艇種別協会(レーザー協会、ウインドサ ーフィン連盟、OP 協会)推薦 ・都道府県セーリング連盟推薦	・420 級15艇30名 ・ラジアル級30艇30名 ・RS:X 級5艇5名	以下の3条件を満たす者 ・20010年12月末現在19 歳未満の者(1992年1月 1日以降に 生まれた者) ・日本セーリング連盟会員 ・日本国籍を有する	《合宿・選考レース》 参加希望者は全て自己推 薦申込書を提出、合宿お よび選考レース参加の諾 否を連盟で決定 (注2)	・ISAF ユース 各クラス最上位の男女 1チーム ・420ワールド 男子2、3位の2艇 女子2位の1艇 ・ラジアルユース補助 対象選手 男子3艇、女子2艇・

注1 5月に認定したユースナショナルチーム候補の内年齢条件をクリアしているチーム数

(1)U-19- 2010年12月31日現在、満19歳未満

- ・ダブルハンド男子 8艇 16名
- ・ダブルハンド女子 1艇 2名
- ・シングルハンド男子 6艇 6名
- ・シングルハンド女子 2艇 2名

(2)U-15 2009年12月31日現在 満15歳未満

- ・シングルハンド男子 5艇 5名
- ・シングルハンド女子 2艇 2名

注2. 自己推薦選手の参加諾否決定

艇種別協会等から推薦を受け「自己推薦申書」(合宿/選考レース)を提出した選手の  
参加諾否の決定に当たっての基準は【別紙2】を参照

注3. 合宿公示及び選考レース公示

各公示は、JSAFホームページ競技力向上委員会及びオリンピック特別委員会ホームペー  
ジに公示される。

## 次世代選手の育成・強化事業(強化合宿、選考レース)参加選手基準

各事業に於いての、安全確保、目的/目標に対する達成度合い確保のため 総参加人員を設定する  
この総参加人員を3つの方法(下記記載)により参加権利を付与する(選考を実施)

## 1. シングルハンドクラス 30艇30名

## 指定選考大会における獲得 (A)

	男子	女子
YMF Sチャレンジカップ	1	1
レーザーสปリングカップ	1	1
ジュニアオリンピックカップ	2	2
国民体育大会	1	1
レーザーラジアル全日本	4	3
レーザーミッドウィンター	2	1
	11	9

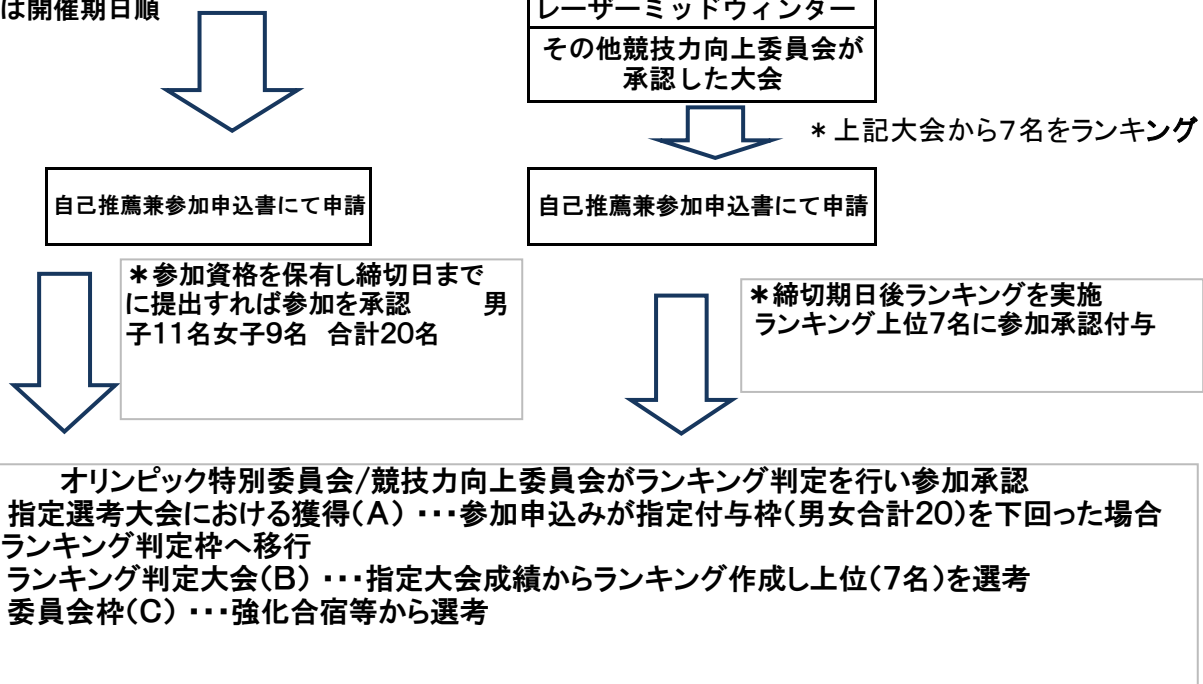
\*記載は開催期日順

## ランキング判定大会 (B)

YMF Sチャレンジカップ
光ウィーク
レーザーสปリングカップ
ジュニアオリンピックカップ
高校選抜大会 境港
国民体育大会
シーホッパーSR全日本
レーザーラジアル全日本
レーザーミッドウィンター
その他競技力向上委員会が承認した大会

## 委員会枠 (C)

委員会枠
*強化合宿等から選抜 3名



## 参加承認通知の送付

参加承認選手に ①参加承認通知の送付  
②入金口座の通知

## 2. ダブルハンドクラス 15艇30名

## 指定選考大会における獲得 (A)

	男子	女子
ジュニアオリンピックカップ	2 (4)	2 (4)
全国高校総体	1 (2)	1 (2)
国民体育大会	1 (2)	1 (2)
全日本420	2 (4)	2 (4)
	6 (12)	6 (12)

\*記載は開催期日順

## ランキング判定大会 (B)

ジュニアオリンピックカップ
全国高校総体
国民体育大会
全日本420
全日本FJ

## 委員会枠 (C)

委員会枠
------

ダブルハンドクラスの委員会枠は別途必要があると判断した場合、委員会枠での資格を与える

\*上記大会から男子6艇(12名) 女子6艇(12名) 計24名

\*上記大会から男子2艇(4名) 女子1艇(2名)をランキング 計6名

\*参加承認の流れは上記のシングルハンドクラスと同じ

## 第1回ユースオリンピックについて

### 【大会概要】

1. 主催：国際オリンピック委員会（IOC）
2. 主管：各国際競技連盟（IF）、大会組織委員会（YOGOC）
3. 目的：ジュニア層のトップ選手が競技会に加え教育/文化プログラムを通して“オリンピズム”を理解する
4. 期間：2010年8月14日から26日（13日間）
5. 場所：シンガポール

### 【競技の内容】

1. 実施競技：26競技、201種目、選手総数3,594名
2. 予選システム：後述

### 【日本選手団の編成等】

1. 個人競技：日本選手団全体で選手70名以内
  - \* 個人競技種目が全て予選をクリアした場合選手数は130名近くになりその中から JOC が派遣種目、派遣選手数を競技団体ランキング等から70名を決定
  - 全ての種目が予選をクリアするとは考えられないが、参加枠を獲得しても出場できる保証はない
2. セーリング競技の選手数
  - \* セーリング選手数は全体で100名（バイト 60 名、テクノ 40 名）、ISAF は 50 ヶ国の参加を目指している、JOC の決定とは別に当初の各国 Entry は男女各1名（種目を問わず）第1次 Entry 全体の参加者数からその後 ISAF から第2次配分の数字が出る仕組みとなっている。
3. チーム競技：サッカー、バレーボール、ハンドボール、ホッケーの4競技8種目（男女）の中から IF の予選をクリアした男女各1チームを上限に JOC が認定  
バスケットボールは、IF の予選をクリアすれば参加可
4. 派遣経費：JOC 負担

### 【セーリング競技】

#### ・本大会

1. 種目：バイト級、テクノ293級 各男女
2. 参加資格：＜年齢＞2010年12月末日現在15歳以上16歳以下の者  
(1994年1月1日～1995年12月31日の間に生まれた者)

#### ・アジア地区予選

1. 種目：バイト級、テクノ293級 各男女
2. 参加資格：＜年齢＞2009年12月末日現在14歳以上15歳以下の者  
(1994年1月1日～1995年12月31日の間に生まれた者)
3. 開催時期・場所：タイ・パタヤ
  - ・バイト級2009年11月23日～11月29日
  - ・テクノ級2010年1月15日～1月23日
4. 出場枠：バイト級 開催国を除き3ヶ国  
テクノ293級 々 2ヶ国

以上